

ASSABU

広報厚沢部
ASSABU Town 2026. 1
Vol. 745

2026

迎春

2025年の厚沢部町のあゆみ

(2月)
「142年の歴史に幕」

▲『鶴小学校 閉校式』(3月号)

(4月)
「脱炭素推進・防災力強化のため」

▲『電気自動車が2台納車!』(5月号)

(9月)
「あっさぶメークイン100周年記念!」

▲『町総合グランドで記念イベント』(10月号)

(10月)
「第12回大収穫祭inあっさぶ」

▲『10kgピッタリチャレンジ』(11月号)

▼『100周年記念ポテトチップス販売も大盛況』

(7月)
「新協力隊が着任」

▲『北村奈津希さん』(8月号)

2026年
皆様にとって良い1年
となりますように。
今後とも広報あっさぶ
をご愛読よろしくお願
いいたします。

(7月・8月)
「フィリピンからダイバーシティ・インストラクター(協力隊)が2名着任」

▲『ローズ・ネイ・サリーノさん』(9月号)



▲『オガバン・カイラ・カカスさん』(10月号)

(11月)
「新・緑町ふれあいセンターOPEN」

▲『指定管理者は「厚沢部町森林組合」に』(11月号)

(11月)
「㈱キッチハイクが厚沢部町へ本社移転」

▲『移住交流センター(上里)へ本社移転』(12月号)

(11月)
「道の駅物産館仮店舗がOPEN」

▲『建替え工事のため仮店舗営業を開始』(12月号)

(10月)
「新プロジェクトマネージャーが着任!」

▲『蔡越先さん』(12月号)

ゆく年あっさぶの1年

2025年も広報あっさぶをご覧いただきありがとうございました
2025年の主な出来事を広報あっさぶで振り返ります

安心して暮らせる

暮ゆせる まちづくりを



佐藤正秀

謹賀新年



長子縣志



教育長 高野政人

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

春皇に満ちた令和8年の輝
かしい新春を、皆様と共に迎
えられますことを心よりお慶
び申し上げます。また、旧年
中は、町政の推進に深いご理
解と温かいご支援をいただき、
厚く感謝申し上げます。

今年は町長に就任して4年
目となり、任期の最終年度と
なりますが、町政における課
題はまだまだ山積しております。
真に幸せを実感できるまちづ
くりに取り組んでいく所存で
ありますので、変わらぬご理
解とご協力を賜りますようよ
ろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年を振り返ります
と2025年の世相を表す

が予算措置されましたので、本町としましても、昨年末に早期予算化を図つたところで、町民の皆様に一日も早く支援が届くよう速やかに事業を実行してまいります。

また、重点事業としては保育園留学事業の一層の充実に加え、道の駅整備、脱炭素推進、義務教育学校整備や道営住宅整備の検討を進めております。特に新たな道の駅物産館は、売り場面積を1.5倍に拡大し、イベントスペースなどを設け、駐車場も拡張します。新たな道の駅は、厚沢部町の顔となり核となる施設であります。町の魅力発信基地として町民の皆様に愛される道の駅となるよう取り組んでまい

昨年11月下旬、議員や町内関係団体役員の総勢8名の訪問団で友好交流協定を結んでいる台湾・寿豊郷を公式訪問してまいりました。現地では郷長(町長)や幹部、農協関係者の方々と意見交換を行つてまいりました。こうした交流は産業の活性化のみならず文化交流を通じた人材育成にも資すると考えており、今後も両町の発展に寄与する取り組

協働と融和こそが、元気で力強いまちづくりの基本であると考えております。

町民の皆様の期待と信頼にこだわるお応えするため誠心誠意、課題解決に邁進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といった

します。

駐在所へ統合されることになりました。地域とともに存続を求めてまいりましたが、道警にとつても苦渋の決断であつたと伺っております。影響を最小限にとどめるため、防犯カメラの増設や解体予定だった駐在所を町が買い取り、警察官が定期的に立ち寄る「警官立寄所」として活用いただけるよう、道警と協議を続けていく考えです。

という歴史的な節目を迎える。これまで厚沢部町の発展に寄与されてきたすべての方々に敬意を表し、深く感謝するとともに、町民の皆様とともに祝い、喜びを分かち合いたいと考えております。

真に豊かな厚沢部町を築いていくためには、行財政改革の推進と同時に、新たな発想と英知を結集し、町政を進めていくことが肝要でありま

本年3月末をもつて長年地
ります

本町は明治9年(1876)
みを進めてまいります

災害に備え新たな防災情報配信システムを4月から導入し

自治体が地域の実情に応じて使える「重点支援地方交付金」

から緊急飼育制度が始まりましたが、まだまだ課題が多いものと認識しております。地元獣友会や警察と緊密に連携し、安全対策と被害防止に取り組んでまいります。

また、昨年8月には大雨による農地等の被害が発生しました。復旧対策として補助上限を引き上げ、被災者への支援を進めてきたところであり

国政に目を向けてみると、昨年10月、憲政史上初の女性総理大臣が誕生しました。高市総理は強いリーダーシップのもと「責任ある積極財政」の考えに基づき、物価高対策などを柱とする「『強い経済』を取りまとめました。臨時国会を実現する総合経済対策」を

「今年の漢字」に「熊」が選ばれたよう、全国でクマによる被害が相次いだ一年になりました。道南でもヒグマの市街地出没が多発し、福島町では7月にヒグマに襲われて男性が亡くなるという痛ましい事故が発生しました。9月

ます。スマートフォンへの迅速な情報提供に加え、スマートフォンをお持ちでない方は戸別受信機を無償貸与し、情報伝達体制を強化します。今後も防災体制の一層の強化を図り、安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

1000

111

新年のご挨拶

厚沢部町議会議長

鈴木祥司



新年明けましておめでとうございます。

輝かしい令和8年の新春を町民の皆様と共に迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。併せて、皆様には日頃から議会に温かいご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和7年10月21日に高市内閣が発足しましたが、公明党が連立政権から離脱したため、衆議院・参議院ともに少数与党政権となり、高市内閣にとって厳しいスタートとなりました。そのような状況の中でも高市総理は、所信表明の中でも「責任ある積極財政」という新たな方針を掲げ、「積極財政により、所得を増やし、消費マインドを改善し、事業収益が上がり、結果として税収が増える」という道筋を示し

ております。これは、地域の未来を見据えた持続可能な発展を実現するために必要な投資を躊躇せずに行うとともに、その責任を果たしていくといふ決意表明です。本町もこの方針を踏まえ、地域経済の活性化やインフラ整備、子育て支援や高齢者福祉の充実などを多岐にわたる施策を積極的に推進する必要があります。

地域の特色を生かした取り組みも重要です。例えば、本町の自然資源や伝統文化を大切にし、それらを観光や地域ブランドの強化につなげることで新たな雇用や交流人口の拡大を目指しています。また、デジタル化やICTの導入による行政サービスの効率化も進めしており、町民の皆様がより便利で快適な暮らしを送れるよう努めています。

このように、行政の果たすべき役割と責任は、ますます大きく、将来にわたって活力ある社会を維持していくことが重要です。当議会は行政との連携、またチエック機能としての役割を果たしていく所存であります。

最後に、今後とも町民の皆様の更なるご支援とご協力を

お願い申し上げ、迎えました

新年が皆様にとって素晴らしい年でありますことをご祈念いたしました。年頭のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。令和8年の新年を迎えてお喜びを申し上げます。また、日頃より農業委員会活動に対しまして、特段のご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。令和8年の新年を迎えてお喜びを申し上げます。また、日頃より農業委員会活動に対しまして、特段のご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

農地の所有者や耕作者の皆様におかれましては戸惑いもあつたかと思います。農地に関するご相談等がございましたら、遠慮なく地元の農業委員や事務局へご相談下さい。

さて、農林業の実態把握を目的とした国統計調査である「農林業センサス」の概数値が公表されました。調査は5年ごとに実施され、今回の公表値を見ますと、道内の個人経営の基幹的農業従事者は、5年前に比べ約19%減少しており、減少率が過去最大となるとともに、65歳以上が占める割合は42%となり1.5%上昇しています。一方で1絆當体当たりの耕地面積は、5年前より4.3ha増加し34.55haとなっています。一方で1絆當体当たりの耕地面積は、5

秋の豊穣をご祈念いたしました。年頭のご挨拶とさせていただきます。

また、昨年4月より、農地の賃貸や売買につきましては、天候に恵まれ、穏やかで災害のない年になるよう祈念してやみません。

また、昨年4月より、農地

農業委員会だより

vol.129

会長
崎 明

外

は、地域計画に基づき農地の集積を図ることとなり、農地中間管理機構（農地バンク）を経由する取引に原則一本化する制度改正がありました。

農地の所有者や耕作者の皆様におかれましては戸惑いもあつたかと思います。農地に関するご相談等がございましたら、遠慮なく地元の農業委員や事務局へご相談下さい。

さて、農林業の実態把握を目的とした国統計調査である「農林業センサス」の概数値が公表されました。調査は5年ごとに実施され、今回の公表値を見ますと、道内の個人経営の基幹的農業従事者は、5年前に比べ約19%減少しており、減少率が過去最大となるとともに、65歳以上が占める割合は42%となり1.5%上昇しています。一方で1絆

最後になりますが、農業者の皆様におかれましては、今までありました。今年こそは、天候に恵まれ、穏やかで災害のない年になるよう祈念してやみません。

また、昨年4月より、農地

第4回町議会定例会

令和7年『第4回厚沢部町議会定例会』が12月9日(火)に開催され、令和7年度一般会計及び各特別会計の補正予算案6件、条例の一部改正案及び制定案4件、請負契約の締結案3件、人事案2件などが審議されました。なお、議事の詳細につきましては、『議会だより2月号』および『町ホームページ』でお伝えします。

一般会計予算を追加

山田氏が一般質問

令和7年度一般会計補正予

算案は1億1587万9千円を追加し、総額を59億6千868万1千円としました。補正の内容は、人事院勧告に伴う給料等の増、財政調整基金積立金、地域幹線系統バス運行費補助金、国保及び介護特別会計繰出金、簡易水道事業会計繰出金、農業集落排水事業会計繰出金、スマート農業等機械導入支援事業費補助金、産地生産基盤パワーアップ事業費補助金、後継就農奨励金、有害鳥獣対策費の増額、うずら温泉の修繕料増額、檜山広域行政組合消防費負担金の増額、学校給食賄材料費の増額などです。

令和7年『第4回厚沢部町議会定例会』が12月9日(火)に開催され、令和7年度一般会計及び各特別会計の補正予算案6件、条例の一部改正案及び制定案4件、請負契約の締結案3件、人事案2件などが審議されました。なお、議事の詳細につきましては、『議会だより2月号』および『町ホームページ』でお伝えします。

議事の詳細につきましては、『議会だより2月号』および『町ホームページ』でお伝えします。

令和7年『

相馬 優氏が 叙勲『瑞宝単光章』を受章

12月8日(月)、永年にわたり消防職員として尽力された相馬優氏(赤沼町)の功績に対する叙勲伝達式が役場で行われ、佐藤町長から相馬氏に「瑞宝単光章」が伝達されました。

相馬氏は昭和53年4月1日に檜山広域行政組合消防士を拝命。平成28年に檜山広域行

政組合厚沢部消防署署長に就任、42年の永きにわたり危険業務従事者として、火災予防や事業所に対して防火意識の高揚を図った功績により、受章されました。相馬氏は「このような章をいただき大変光栄に思う」と述べました。



▲叙勲「瑞宝単光章」を受賞された相馬優氏(右)

小山正美氏が 『北海道社会貢献賞』を受賞

12月15日(月)、北海道社会貢献賞の伝達式が町長室で行われ、小山正美さん(緑町)へ町長から表彰状が伝達されました。

小山氏は、平成17年6月より約20年間、町長室で行われ、小山正美さん(緑町)へ町長から表彰状が伝達されました。

められており、永年の町民の健康推進に対する功績が認められました。



▲北海道社会貢献賞を受賞された小山正美氏(右)

下川部勝利氏が 『北海道知事感謝状』を受賞

12月4日(木)、北海道知事感謝状の伝達式が町長室で行われ、下川部勝利さん(字滝野)へ町長から感謝状が伝達されました。

下川部さんは、平成9年から「農林業センサス」や「国勢調査」等の統計調査に従事され、その従事年数が10年に達したとして、感謝状が授与されました。



▲北海道知事感謝状を受賞された下川部勝利氏(右)

友好交流協定先 台灣・寿豊郷を訪問

11月28日(金)、佐藤町長をはじめとする使節団8名は、台湾花蓮県東部に位置する寿豊郷を訪問しました。厚沢部町と寿豊郷は令和5年3月に、観光や農業、地域創生の分野で協力し、交流を深めることを目的に、「友好交流協定」を締結しており、この度の訪問となりました。寿豊郷役場で歓迎式典が開催されました。

かれ、記念品を交換したほか、寿豊郷特産品である宝石(翡翠)の研磨体験や淡水ロブスターの養殖場を視察し、寿豊郷の人々と交流を深めました。

曾淑懿郷長(郷長は町長に相当)は、「台湾と日本はこれまで良き友であり、厚沢部町と寿豊郷は手を携えて共に発展する一つの家族になるだろう」と述べられました。

今回の訪問をきっかけに、厚沢部町と寿豊郷は今後より一層に相互利益と共存共栄を実現し、双方の地域交流の活性化と機運を高めることが期待されます。

来年度には、曾淑懿郷長をはじめとする使節団が厚沢部町を訪問予定で、町長は「寿豊郷の皆様を大いに歓迎したい。相互の魅力を知り、多方面で協力し合う関係性を今後も育んでいきたい」と歓迎の意を述べました。

▲ステージにて厚沢部町をPRしました！

11月27日(木)～12月1日(月)の間、町夢現プロジェクト実行委員会の有志は台湾を訪問し、昨年に引き続き台北駅で開催された日本観光物産博覽会に参加しました。出展ブースで台湾の方へアンケート調査を実施した他、台湾旅行会社との商談会に参加し、檜山

地域が旅行商品としての価値が高いことをPRしました。また、ステージでは厚沢部町のPR動画を放映しました。

さらに市場調査も行い、日

本製品の質への信頼性が高く、日本語がパッケージで多

用されていること(特に「北

海道」は人気であること)や、台湾产品と比べて高値での販売にもかかわらず、人気であること)を確認しました。

今回参加した松本主事(政策推進課)は、「台湾で日本の文化や食が人気であることを実感した。メークイン(そもそも馬鈴薯の品種)について

知らない方が多く、今後のPRの余地が大きいことが確認できた」と述べました。

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

鹿子舞交流会開催 のお知らせ



▲寿豊郷役場で記念撮影。

かれ、記念品を交換したほか、寿豊郷特産品である宝石(翡翠)の研磨体験や淡水ロブスターの養殖場を視察し、寿豊郷の人々と交流を深めました。

曾淑懿郷長(郷長は町長に相当)は、「台湾と日本はこれまで良き友であり、厚沢部町と寿豊郷は手を携えて共に発展する一つの家族になるだろう」と述べられました。

今回の訪問をきっかけに、厚沢部町と寿豊郷は今後より一層に相互利益と共存共栄を実現し、双方の地域交流の活性化と機運を高めることが期待されます。

来年度には、曾淑懿郷長を

はじめとする使節団が厚沢部町を訪問予定で、町長は「寿豊郷の皆様を大いに歓迎したい。相互の魅力を知り、多方面で協力し合う関係性を今後も育んでいきたい」と歓迎の意を述べました。

▲ステージにて厚沢部町をPRしました！

11月27日(木)～12月1日(月)の間、町夢現プロジェクト実行委員会の有志は台湾を訪問し、昨年に引き続き台北駅で開催された日本観光物産博覽会に参加しました。出展ブースで台湾の方へアンケート調査を実施した他、台湾旅行会社との商談会に参加し、檜山

地域が旅行商品としての価値が高いことをPRしました。

また、ステージでは厚沢部町のPR動画を放映しました。

さらに市場調査も行い、日

本製品の質への信頼性が高

く、日本語がパッケージで多

用されていること(特に「北

海道」は人気であること)や、

台湾产品と比べて高値での販

売にもかかわらず、人気であ

ること)を確認しました。

今回参加した松本主事(政

策推進課)は、「台湾で日本の

文化や食が人気であることを

実感した。メークイン(そも

そも馬鈴薯の品種)について

知らない方が多く、今後のP

Rの余地が大きいことが確認

できた」と述べました。

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

☎ 080-6094-8439

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先

鹿子舞交流協議会事務局

(石井)

脱・炭素タウン

へのあゆみ



vol. 2

厚沢部中学校で講義

12月8日(月)、厚沢部中学校

館小学校で省エネ体験

の1年生を対象に、町が取組む「脱炭素推進事業」について講義を行いました。町の人口減少等の課題を脱炭素と併せて解決していく取組について政策推進課の木口主幹より説明を受けると、生徒たちは、環境に配慮したエネルギーが身边にあることを実感した様子でした。

町では今後も環境配慮への醸成に努めてまいります。



▲町の脱炭素事業についての授業



▲省エネおにぎりを作ったよ！

同日、檜山振興局の主催により、館小学校5・6年生を対象にした「省エネ・節電クッキング」が開催されました。

講師として「北海道地球温暖化防止活動推進員」の宮森芳子氏が来校し、電気炊飯器を使わないガスと保温調理を用いた省エネクッキングで、わかれおにぎりを作りました。

調理中は、地球温暖化の問題についても考え、省エネでもふつくら焼きあがつたお米でおにぎりをにぎりました。

「人権作文・ポスターコンテスト」

「人権作文・ポスターコンテスト」の表彰伝達式が行われ、受賞した8名の生徒に、賞状と記念品が贈呈されました。このコンテストは身の周りにある様々な人権問題について考えてもらい、豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的に行われています。



厚沢部中学校 古館さん



厚沢部小学校 太田さん



厚沢部中学校
上列左から松橋さん、古館さん、二宮さん、三上さん
下列左から福島さん、増崎さん、藤岡さん

	表彰者名	タイトル	受賞名
作文の部	古館ひかり (厚中3年)	「友達とは」	函館地方大会 優秀賞
	藤岡百恵 (厚中2年)	「手のひらを太陽に」	江差地区大会 最優秀賞
	福島侑衣 (厚中1年)	ネットの人権	江差地区大会 奨励賞
	増崎彩 (厚中2年)	特別扱いじゃなくていい ～みんなと一緒にいい～	
ポスターの部	太田颯馬 (厚小6年)	思いやりあふれる世界をつくろうよ	函館地方大会 優秀賞
	二宮悠 (厚中3年)	本当に幸せですか	函館地方大会 奨励賞
	松橋咲綾 (厚中3年)	つなごう その手と心	
	三上響太 (厚中3年)	本当の顔は 笑ってますか?	江差地区大会 奨励賞



▲AIでナレーションが入れられており、先端技術を使いこなして動画を作成していました。



▲防火衣と長靴が新しくなりました！



▲座学訓練も行いました！

厚沢部中学校1年生 「厚沢部町の魅力」を動画で発表

12月18日(木)、厚沢部中学校1年生は、厚沢部町の魅力をテーマに動画を作成し、校内で関係者に向け発表しました。

今春から総合的な学習の時間で厚沢部町の魅力を7つのテーマに分類して調べ学習していました。館城の歴史や豊かな自然、あっさぶメークインのおいしさ、地域の人等の

今春から総合的な学習の時間で厚沢部町の魅力を7つのテーマに分類して調べ学習していました。館城の歴史や豊かな自然、あっさぶメークインのおいしさ、地域の人等の

11月30日(日)、厚沢部町総合体育館および図書館において「現地教育訓練」が開催されました。

北海道消防協会檜山地方支部の事業の一環とし、北海道消防学校より2名の講師を招いて、効果的な消火戦術「火災防御」の習得や、部隊の統制・指揮能力の向上を目指す「小隊訓練」に取組みました。

訓練には、山田健喜消防団長以下、幹部団員36名が参加し、講師の指導のもと、真剣な眼差しで知識並びに技術の習得に励みました。

また、本年度、消防団員の安全確保と装備の充実を図ることから、消防団員が現場活動や訓練で着用する活動服上下、防火衣一式と現場活動用長靴が新しくなり、安全性と

新基準消防団員用活動服で心機一転！ 「現地教育訓練」を開催

11月30日(日)、厚沢部町総合体育館および図書館において「現地教育訓練」が開催されました。

訓練には、山田健喜消防団長以下、幹部団員36名が参加し、講師の指導のもと、真剣な眼差しで知識並びに技術の習得に励みました。

山田健喜消防団長より「新機能性に加えデザイン性も向上され、心機一転「新基準消防団員用活動服」を着用し訓練に臨みました。

山田健喜消防団長より「新しい活動服で、士気向上を図ることとともに、訓練で学んだことを今後の活動に生かしてほしい。」と訓示があり、訓練に参加された団員たちは決意も新たに、地域の防災力強化へ意識を高めました。



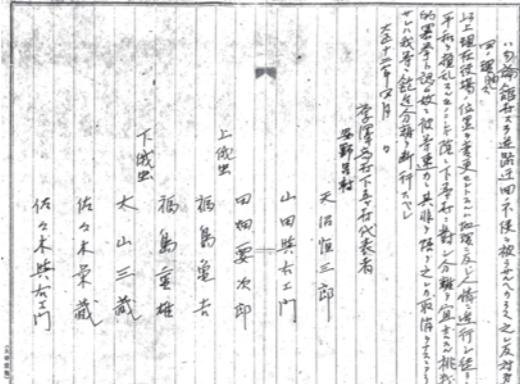
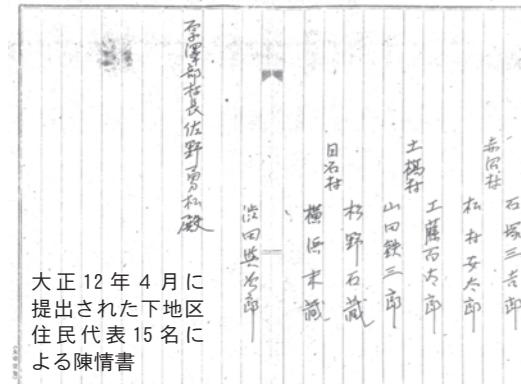
▲座学訓練も行いました！



▲座学訓練も行いました！

一方、役場所在地の下地区
住民も黙つてはいなかつたよう
です。この経過を示す資料
が令和7年9月に郷土資料館
に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出
された陳情書は「厚沢部村
下五か村代表者」の名義で天
沼恒三郎以下15名の住民代表
が名を連ねています。請願書
の趣旨は、同年2月に提出さ
れた建議書への反論で、4点



社会教育通信

大正12年(1923年)2

とする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶴村、館村の村委会員でした。当時の村委会員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶴地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙つてはいなかつたようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

体育館アリーナ 利用制限

- 体育館アリーナの利用制限について、詳細が定まりましたのでお知らせいたします。
 - 一部利用制限
 - 1月13日(火)から2月1日(日)全面利用停止
 - 2月2日(月)から2月27日(金)ランニングデッキ
 - 1月13日(火)から2月27日(金)までの期間利用できません。
 - 柔道場・剣道場・トレーニングルーム・弓道場は利用可
 - です。



おすすめ新着図書

●「国宝 上・下巻 (朝日文庫)」

吉田修一(著) 朝日新聞出版
映画化で話題の作品。生い立ちや才能の違う役者2人
が、芸の道を究め頂点を目指して駆け抜ける。【青春篇(上)
卷) 花道篇(下卷)】。

國寶

遠坂八重(著) (朝日新聞出版)
一死んだら永遠に休みます
パワハラ上司が死んだらし
い。容疑者は:部下全員!? 真
に近づくほど怖くなる、限
界会社員ミステリー。

心豊かに学び、厚沢部町の未来を拓く人を育む

教育委員会だより

令和8年（2026年）1月

No. 26

文責 厚沢部町教育委員会



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。町民の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えたことと心よりお慶び申し上げます。

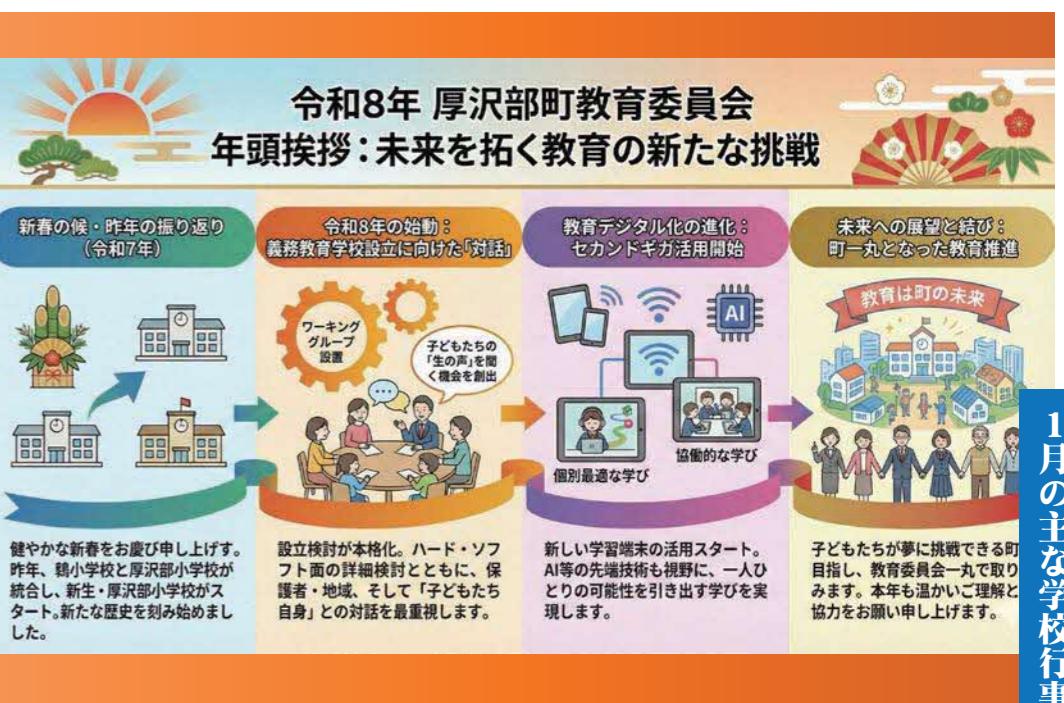
昨年は、長きにわたり地域の皆様に愛されていた鶴小学校と厚沢部小学校が統合し、新生・厚沢部小学校として新たな歴史を刻み始めた節目の年でした。新たな環境の中で子どもたちが互いに刺激し合い、たくましく成長している姿を目の当たりにし、改めて教育環境の充実の重要性を実感しております。

さて、本年は、厚沢部町の未来を拓く「義務教育学校」の設立に向けた動きが本格化する年です。これまでの検討委員会での議論を土台とし、令和8年度からは新たに実務的なワーキンググループを設置いたします。この場では、新しい学校のハード面・ソフト面の詳細な検討を進めてまいりますが、何より大切にし

たいのは「対話」です。保護者や地域の皆様のご意見はもちろんのこと、学校の主役である子どもたち自身の「こんな学校で学びたい」という生の声を積極的に聞き取る機会を設けてまいります。大人と子どもが共に未来の学校像を描き、町全体にとつても魅力ある学校づくりを目指して議論を深めていく所存です。

また、教育のデジタル化について、更新整備した新しい学習端末の活用が始まります。A-I等の先端技術も視野に入れながら、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図つてまいります。

教育は、町の未来そのものです。子どもたちが誇りを持ち、安心して夢に挑戦できる厚沢部町であり続けるために、本年も教育委員会一丸となつて全力で取り組んでまいります。町民の皆様におかれましては、本年も変わらぬ温



1月の主な学校行事

14日(水)教職員研修
15日(木)3学期始業式
21日(水)厚沢部小授業研修

戸籍の窓

(12月19日届出分まで)

いつまでもおしゃわせに

田中秀和さん 上ノ国町
松橋美怜さん 新町

おくやみもうしあげます

南館町 村田 アイさん (98歳) 11/21
館町 清水 榮市さん (96歳) 12/6
新町 小林 貞義さん (93歳) 12/10
緑町 瀬戸スミレさん (95歳) 12/13

町の人口

令和7年11月末現在

	世帯	男	女	人口	前月からの 人口増減
下地区	1,043	906	1,015	1,921	(-3)
鶴地区	301	264	281	545	(-3)
館地区	414	358	377	735	(-5)
全町	1,758	1,528	1,673	3,201	(-11)

※外国人住民を含む

厚沢部町ふるさと納税寄附状況

(12月20日届出分まで)

今月の寄附件数	40件
今月の寄附金額	2,356千円
令和7年度 寄附件数累計	927件
令和7年度 寄附金額合計	18,241千円
前年度寄附金額	42,922千円

厚沢部町交通事故死ゼロ記録簿

令和7年12月20日現在

連続 1 8 0 6 日

たいこやま組 (4歳児)



ししまい組 (5歳児) あおもり体験劇



あゆ組 (3歳児) English コント



とき
間
を
刻
む

認定こども園はぜる 『はつひょううかい』



12月13日(土)、認定こども園はぜる、3歳以上児の『はつひょううかい』があゆみで開催され、園児は保護者が見守る中、元気いっぱいに練習した成果を見せてくれました。

インフルエンザが発表会直前で流行し、発表会当日お休みの園児も多く残念でしたが、発表会は無事に終了し、参加者全員が笑顔で帰路につきました。

